

## 夏休みの留学記録 2008

オックスフォード大学、ハートフォードカレッジ

MM Oxford Study Services

E. K (2年女子)

私は夏休みにイギリスにあるオックスフォード大学のカレッジのひとつであるハートフォードカレッジで行われた **summer vacation courses** に二週間参加しました。以前より、夏休みのサマースクールに参加してみたいと思っていました。留学先を決めるにあたっては、様々な留学冊子を集め、担任の先生にも相談した上で決めました。調べてみると実にたくさんの選択肢があり、最終的にどこにするかを決めるのはとても大変でした。その中でもハートフォードカレッジのサマーコースを選んだのは主に二つの理由があります。私は中学のときはインターナショナルスクールに通っていたので毎日英語に触れていたのですが、高校に入ってその時間が少し減ってしまったように感じていたので英語をさらに磨きに行きたいという希望がありました。そこで留学の情報を提供している会社の方からある程度レベルの高い授業を提供しているところとして紹介していただいたのがここでした。もうひとつの理由は一度もヨーロッパに行ったことがなかったので、行ってみたいという思いもありました。そこにはただヨーロッパに行っただけではもったいないので、この経験を通じてヨーロッパと日本の文化や習慣の違い、建造物の違いなども知る場として生かせるらしいなどの思いもありました。また、歴史が深く、たくさんの有名人を輩出してきたオックスフォード大学というのがどのようなところなのかというのにも興味がありました。主にこの二つの理由から留学先を決めました。

ハートフォードカレッジは「溜め息の橋」があるカレッジとして有名です。このコースは16歳から20歳を対象としたコースです。大学内は比較的きれいでした。私は大学寮でイタリア人の子との二人部屋でした。寮の部屋はきれいで中にはクローゼット、たんす、机、小さいテーブル、いずと洗面台がありました。初日にはプレイスメントテストが行われます。これはレベル分けのテストで **writing, grammar, speaking** のテストがあります。その点数に応じてクラスが決まります。一クラスは15人程度なのでとても小さいクラスでした。授業は週5日の午前中に行われます。授業内容は英語の **grammar, reading comprehension, writing, oral speaking** などがありません。そして週二回午後を選択授業がありました。例えば、オックスフォード出身の有名な作家の作品を読んだもの、また大学の博物館へ行ってそれについてのレポートを書くなどの授業があります。私のクラスはスペイン、ドイツ、ポーランド、メキシコ、イタリア、セルビア、クロアチア、ボスニアの人がいました。日本人は私一人

だけでした。しかし、みんなとてもフレンドリーでとても楽しい思い出がいっぱいできました。先生方もとても面白い先生たちで、ある先生はヨーロッパや世界で起きていることや政治などについて話を下さったのでみんなの意見を聞きながらのディベートをすることができ、これはとても興味深い内容でした。授業以外には、遠足（ロンドン散策）、スポーツそして夜にはビンゴやクイズ大会など様々なプログラムが用意されています。

私はこのコースの中でドイツ人の子とセルビア人の子と仲良くなりました。三人でオックスフォードの町を散策したり、パントと呼ばれるボートに乗って落ちそうになったりととても楽しい時間を過ごすことができました。この二人からは自分たちの国の言葉や習慣などを色々教えてもらおうと同時に私は彼女たちに日本のことについて色々説明しました。ここに来て改めて世界的な視野を持つとともに日本の国のことも知っていないといけないということを思い知らされました。ICU 高校の生徒としてもそうですが今後この社会で生きていく中で外国の方に日本のことを聞かれたときに答えられることも日本人として、そして国際人としても重要なことであることも身にしみてわかりました。

オックスフォードで過ごした二週間は長いようで短かったかのように思います。たくさんのイベントを通じて世界や今まであまり知らなかったヨーロッパのこともしることができて興味深いことが多々ありました。今回この夏のプログラムに参加することによって色々な国の人と交流することができ、また英語をブラッシュアップすることができ、とてもよい勉強になりました。

